



4 3期生学年通信 No.24 ~2021.10.26 自分の結果と向き合おう号~

## 2学期中間テスト講評

テストが終わって2週間が経ちました。各教科でテストが返却され、先週の金曜日にはテスト振り返りが配布されました。各クラス、各教科の授業でも何度も言われていると思いますが、「何点だったのか」という結果ももちろん大切ですが、その結果を受けて今回のテストに向けて取り組みを振り返ることもとっても大切です。前回のテスト（1学期期末）と比べて何を工夫し、何がよかったのか、逆に前回と同じ失敗をしてしまったことや今回新たに出てきた課題を分析してください。そしてそれを次のテストに生かすために、明日からの自分の行動を変えるきっかけにしてください。

教科	講評
国語	<p>いよいよ古典分野に入りました。古典は、一見難しそうですが、やってみると案外わかりやすいものです。まずは、①歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す練習をしましょう。②古文を声に出して読みましょう。③現代語訳を確認しましょう。④時代や作者名、特徴など、文学史の知識も最低限確認しましょう。この①~④は必ずやっておいてください。</p> <p>今回残念だったのは、漢字です。14点中10点以上取れた人が少なかったです。まずは、漢字を書けるようにしてください。</p>
社会	<p>地理分野において地形は確実に覚えておかななくてはなりません。また、教科書や資料集はもちろん、ワーク[自主学习]に何度か取り組む中で、しっかり資料(グラフや表)を読み込むことも大切です。グラフや表から、その国の特徴やどのような産業に力をいれているのかがわかることもあります。読み込むという意味で言えば、問題文や自分の解答を正しく読むということも、再確認しておいてください。期末テストからは歴史分野も入ってきますが、地理分野において納得のいく結果ではなかった人は、今までの学習のやり方を少し変えてみるのはどうでしょうか。もちろん、「しっかり勉強をしたいけれど、どのように学習すればいいのかがわからない」という人は、聞いてください。やるかやらないは君たち自身ですが…</p>

数学	<p>今回の範囲は『文字の式』『方程式』でした。基本的な計算問題はよくできていましたが、単純な計算ミス、勘違いミスも少なくはなく、もったいない失点をして悔しい思いをした人もたくさんいたと思います。また、今回はワークからの出題も多かったです。ただ何となく解いて答え合わせをするだけでなく、間違えてしまったところ、難しく感じたところは繰り返し解いて解けるようになりましょう。(詳しくは4月当初に配布したワーク「わかる数学」四か条を読んでね！)</p> <p>前回の範囲の『正の数と負の数』から内容が積み重なっているので、1学期の期末テストで思うような結果が出ず、苦手をそのままにして2学期をむかえた人は、結果は出にくかったのではないかと思います。逆に、前回の期末テストや単元テストの反省を生かして今回のテストをむかえることができた人は、前回よりもいい結果が出たのではないかと思います。4章からは関数の分野に入り、1年生の数と式の分野(計算メインの分野)はひとまず終わりです。(関数でも計算は出てきますが…)しかし、2、3年生になったらまた数と式の分野から始まり、もちろんそこには1年生で学んだことが積み重なってきます。前回、そして今回のテストでうまくいかなかった人は、これまでの定期テストや単元テストをもとに自分の苦手を分析し、克服しましょう。新しい分野に入るので、ここまでの範囲が苦手に感じた人も、結構いけた人も、新しい気持ちで頑張りましょう☆</p>
理科	<p><b>●●先生から、みんなへのアドバイス！</b></p> <p>今回のテスト範囲では次の点が章の目標でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 動物の観察を行い、その基本的なつくりを理解し、分類できることを学ぶこと。また、観察するときの注目点について、考える力を身につけること。</li> <li>• 様々な実験を行い、物質には固有、共通の性質があることを理解する。また、気体に関する実験を行い、気体の種類による特性を理解する。また、それぞれの実験においては、実験器具の操作や補集法の技能を身につける。</li> </ul> <p>今回のテストを採点して、特徴的な三点をあげます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①記述式の問題では、その答えにいたる根拠を示せていないことが多く見られた。</li> <li>②動物の分類に関しては、分類名は答えられていたが、分類分けの正答率が低かった。</li> <li>③ガスバーナーの操作手順において、理解が十分ではなかった。</li> </ol> <p>これらをふまえ、まず、みなさんに伝えたいことがあります。みなさんの行ったテスト直しを大切にしてほしいことです。単に答えを直すだけでなく、どうして間違えたのか、間違ったところを今は十分に理解できているのかを確認してほしいです。そして、そこから新たに期末テストに向けて、スタートを切ってほしいと願います。</p>

音楽	<p>今回の筆記テストを終えて、簡単なミスが多いように感じました。作詞者・作曲者の意図でつけた題名、音楽用語の読み方・意味など、しっかりと教科書通りに覚えていけるように、普段の授業で“聴いて”確認していきましょう。また、放送テストが難しく感じる人もいたかもしれません。曲を聴いて、強弱や雰囲気を感じ取り、それぞれの曲名を理解することや場面の理解をすることを心がけていきましょう。授業を通して、感性を高めていきましょうね！</p>
英語	<p>今回のテストは、can、代名詞、三人称単数現在形が中心でした。が、今だ be 動詞と一般動詞の区別すらできていない人が多数いました。単語をきちんと覚えることは当然ですが、正しい文法にしたがって使えなければ覚えた単語も生かせません。今一度教科書「英語のしくみ」を最初から復習しておきなさい。今回の三単現では、どこにsが要るのか要らないのか、わからないままに放置しないこと。</p> <p>英語は単語と文法をふまえて、対話文や長文を聞いたり読んだりして、内容をしっかり理解し設問に正しく答えられなければなりません。自学においても、単語や文法問題だけでなく、対話文やまとまりのある文章にも触れるようにしましょう。</p> <p>自由英作では、知っている単語と習った文型を使って書くだけ。難しいこと、カッコいいことを書こうとしすぎて単語、文法を間違えて点数にならないものが散見されました。授業や基本文マスターの英作課題を大事に、普段から「英語で何て言うんだろう」という意識をもちましょう。</p>

